

# デジタルアセット管理 (DAM)市場の動向 ～2028年までの予測～

---

マーケットアンドマーケット社の2028年までのグローバル  
フォーキャスト調査レポートからのポイントを解説！

## 02 目次・本書の概要

### 本書の概要

マーケッツアンドマーケッツ社は、2023年4月に、世界のデジタルアセット管理（DAM）市場の現在の動向と影響する要因、2023年から2028年までの潜在成長率に基づき多様な分析を行いました。<sup>1</sup>

地域別およびコンポーネント（ソリューションとサービス）、ビジネスファンクション（人事、営業&マーケティング、IT、その他）、組織の規模（大企業、中小企業）、導入タイプ（オンプレミス、クラウド）、業種（流通・小売&eコマース、銀行・金融サービス・保険（BFSI）、製造、IT&通信、メディア&エンターテインメント、政府&公共機関、旅行&ホスピタリティ、ヘルスケア、その他（教育、不動産・建設、エネルギー・公益事業）を対象として分析しています。

なお、予測された市場規模はDAMソリューションとサービスを考慮したものであり、プロバイダーやユーザが導入・利用するサポートインフラやハードウェアの市場規模は含まれていません。

本書では、このレポートから注目すべき点を紹介します。グローバルな動向や市場規模を示すとともに、各データは主としてアジア太平洋地域のデータを紹介します。

また、日本で唯一、評価対処として選択された、ビジュアル・プロセッシング・ジャパンの評価も示します。

DAMの更なる活用分野や広がる可能性のご理解にぜひご活用ください。

<sup>1</sup> 予測は、2023年4月時点の予測である。

## 目次

- 02 目次
- 03 はじめに～DAM市場の可能性
- 04 DAM市場予測（地域別）グローバル
- 05 DAM市場予測（地域別）リージョン
- 06 DAM市場予測（セグメント別）コンポーネント
- 07 DAM市場予測（セグメント別）ビジネスファンクション（1）
- 08 DAM市場予測（セグメント別）ビジネスファンクション（2）
- 09 DAM市場予測（セグメント別）導入タイプ（1）
- 10 DAM市場予測（セグメント別）導入タイプ（2）
- 11 DAM市場予測（セグメント別）組織の規模（1）
- 12 DAM市場予測（セグメント別）組織の規模（2）
- 13 DAM市場予測（セグメント別）業種（1）
- 14 DAM市場予測（セグメント別）業種（2）
- 15 DAM市場予測（セグメント別）業種（2）
- 16 DAM市場予測（日本）（1）
- 17 DAM市場予測（日本）（2）
- 18 今後のテクノロジーの機会
- 19 ビジュアル・プロセッシング・ジャパンの評価
- 20 お問い合わせ

# はじめに～DAM市場の可能性

デジタルアセット管理（DAM）は、効率的なコンテンツ管理を支える基盤として注目されています。企業が保有するオーディオ、ビデオ、3Dコンテンツ、デジタルドキュメントなど、増大するデジタルアセットを一元管理し、迅速な検索や共有、適切な権限管理を可能にするニーズが、DAMソリューションの導入を後押ししています。

## マルチチャネルに対するデジタルアセットのSSOT (Single Source of Truth: 真実の単一情報源)



Webサイト、アプリケーション、ソーシャル・メディア、eコマースサイトなどのプラットフォーム間でのデジタルアセットの保存、整理、検索、維持、更新、分析、ストリーミングを可能にします。さらに、デジタル著作権管理（DRM）機能により、アクセスやコンテンツの承認ワークフローが可能になり、即座に承認を得ることができます。

## パートナー/顧客/従業員体験、コラボレーションの向上



企業全体の人事チーム、営業&マーケティング担当者、IT部門、Webサイト管理部門、クリエイティブ部門が、デジタルアセットの最適化された一元的な保管、管理、充実化、分析を通じて、パートナーや顧客の体験を向上させることを可能にします。地域間のアセット共有も容易になり、グローバルなコラボレーションが可能になります。

## DAM市場の成長を促進する多くの要因



クラウドベースの配信オプションの出現、著作権問題を回避するためのデジタルアセットへのアクセス制御とセキュリティ向上に対する需要が高まっています。データの完全性を実現するための取り組みの増加と、安全なデジタル取引を効率化するために暗号化技術を普及させる傾向、AI、機械学習（ML）、高度な分析などの機能のDAMソリューションへの統合などが期待されています。

## CAGRは13.0%、2028年には87億800万米ドル

DAM市場は、2023年から2028年までの年平均成長率（CAGR）は13.0%で、2028年には87億800万米ドルに達すると予測されています。

2020年にはCOVID-19のパンデミックが市場に悪影響を及ぼし、市場の前年比成長率が急激に低下しましたが、同市場のベンダー企業は事業改善のためにさまざまな戦略を採用し、提携や製品開発を通じて既存製品を強化しています。

さらに、オンプレミスからクラウドベースのソリューションへの移行、継続的なデジタルトランスフォーメーション、COVID-19の流行による安全なデジタルアセット管理に対する需要の急増が、デジタルアセット管理への需要を高めています。

DAM市場予測（グローバル）

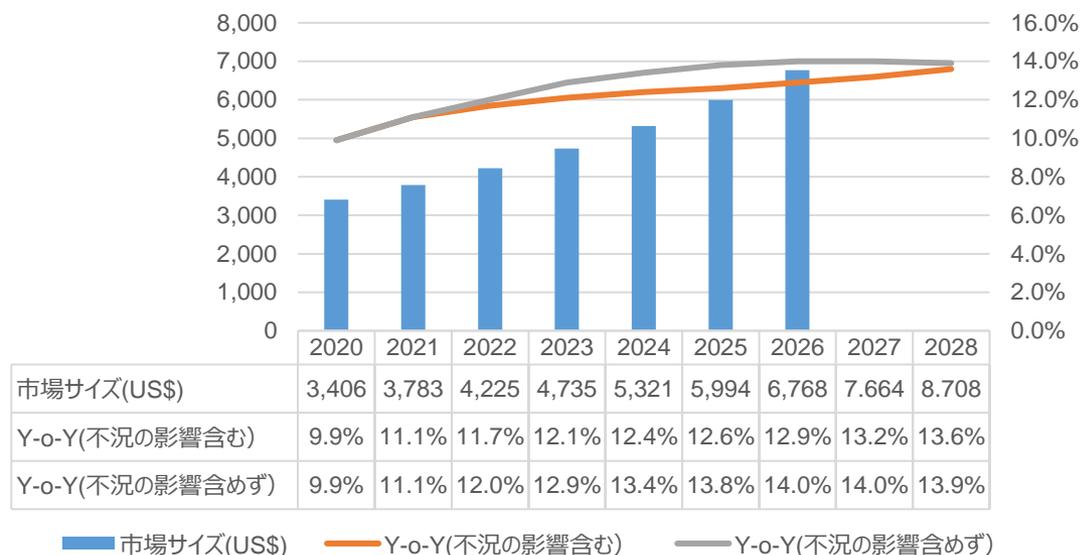


図1：DAM市場予測（グローバル）  
 出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

## アジア太平洋地域の成長率が最も高い

世界の地域毎の予測は、アジア太平洋地域が最も高い成長率を示しています。推進要因として、安定した収入の増加、ダイナミックな消費者の需要、そして多額の支出により、企業や組織のハイテクの普及によるビジネスプロセスの改善プレッシャーがあります。このため、アジア太平洋地域の企業は、増え続けるメディアやその他のデジタルアセットを管理し、ブランド価値を総合的に把握するために、DAMソリューションをますます導入すると予測されています。

また、IT 予算が限られている新興企業の増加、クラウド・イノベーションの増加、クラウドベースのデジタル・ソリューションの低コストという利点も、クラウドベースの DAM ソリューションの需要を押し上げると予測されています。

DAM市場予測（リージョン別）

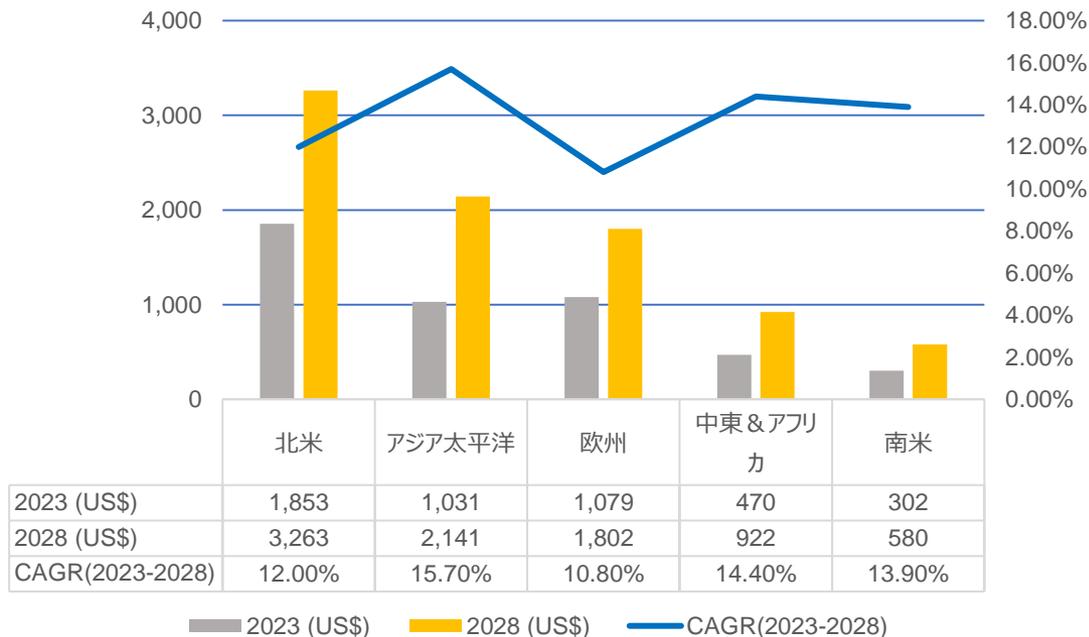


図2：DAM市場予測（リージョン）  
出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

# DAM市場予測（セグメント別）コンポーネント

コンポーネントは、ソリューションとサービスに分割されます。

ソリューションは、堅牢なDAM機能を備えたスタンドアロンまたは統合ソフトウェアプラットフォームとして提供されるDAMソリューションの売り上げです。

サービスは、コンサルティング、統合、実装、トレーニング、サポート、保守のようなサービスに関連する費用です。

## シェアはソリューションが高く、CAGRはサービスが高い

小規模ビジネスやプロフェッショナル、企業ユースケースでの様々なDAMソリューションの高い採用率により、ソリューションが市場での優位性を維持すると推定されています。企業はDAMソリューションを活用し、デジタルアセットを管理し、顧客、サプライヤー、従業員とのコンテンツ共有やコラボレーションを最適化することで、ブランド認知度の向上、TTMの迅速化、従業員の経験や満足度の向上を実現します。

サービス分野は、ソリューション分野に比べて高いCAGRで成長すると予測されています。これは、DAM関連の統合と実装の複雑さにより、手間をかけずにタイムリーな実装を確実に行うための事前導入サービスの需要が高まっているからです。

アジア太平洋DAM市場予測（コンポーネント別）

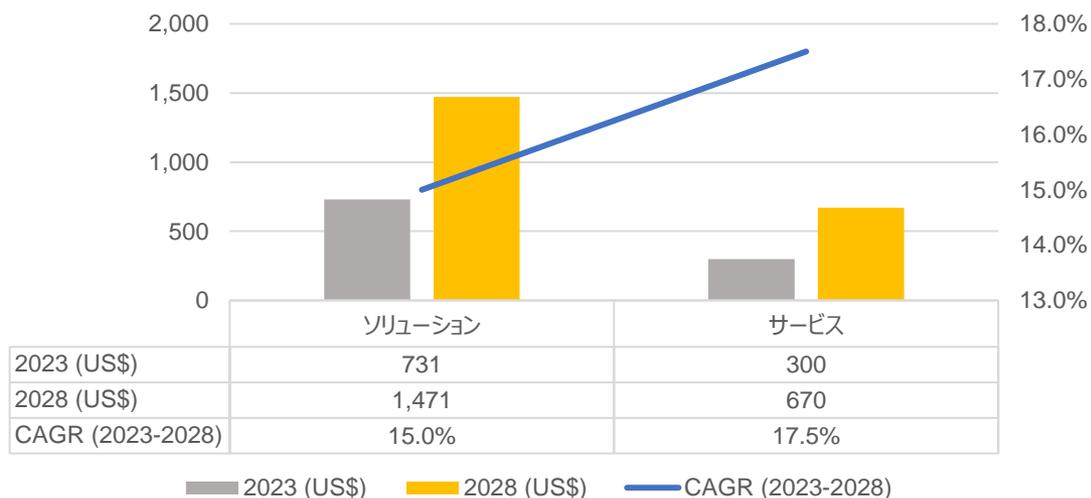


図3：アジア太平洋 DAM市場予測（コンポーネント）

出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

# DAM市場予測（セグメント別）ビジネス ファンクション（1）

ビジネス ファンクションは、グローバルでは、人事部門が最も高い市場シェアを占めると推定されていますが、アジア太平洋地域では、営業&マーケティングの成長の方が上回ると予測されています。

## グローバルでは人事、アジア太平洋では営業&マーケティングのシェアが高い

アジア太平洋DAM市場予測（ビジネス ファンクション別）

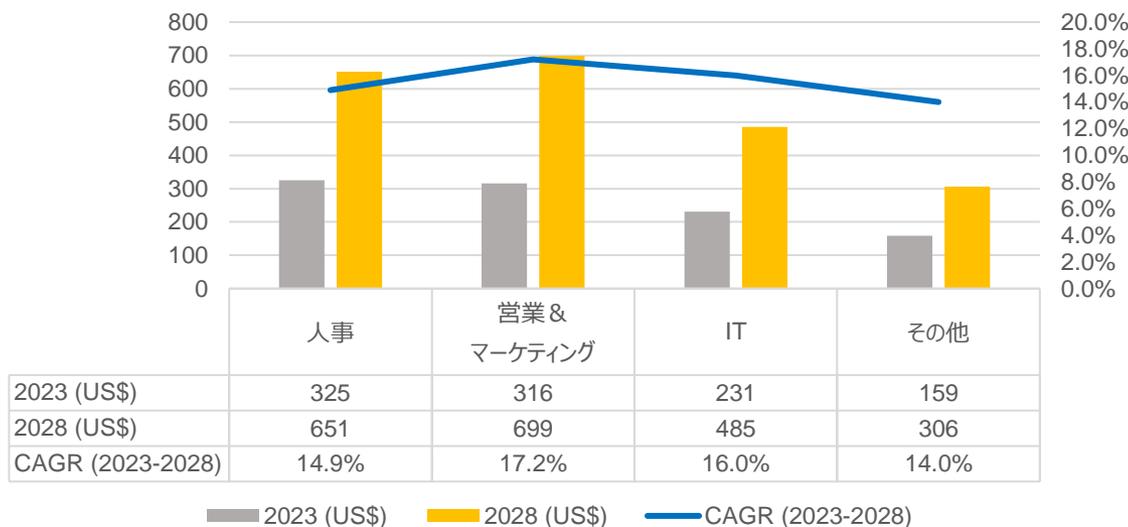


図4：アジア太平洋 DAM市場予測（ビジネス ファンクション）

出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

# DAM市場予測（セグメント別）ビジネスファンクション（2）

ビジネスファンクションは、人事、営業&マーケティング、IT、その他のビジネス分野で分析しています。

## 人事

- 従業員関連の文書や写真の管理を合理化し、採用関連のメディアアセットを充実させて配信したり、従業員のトレーニングにも効果的に活用できます。
- 人事部門とIT部門は、DAMを使って人員配置に対応する役割と機能ごとに付与できるアクセス許可のレベルについて協力できます。
- IT部門は、人事部門が当該従業員に対してレベルに応じたアクセス許可のプロビジョニングを自動化することができます。
- DAMはリモートワークのコラボレーションを合理化します。

## 営業&マーケティング

- 最適化された販売およびマーケティングキャンペーンを促進し、マーケティングおよび販売関連のデジタルアセットや資料の管理を簡素化し生産性の向上や売上の増大につながります。
- DAMは、アセットの検索を容易にし、アセットのバージョン追跡を可能にし、アセットに関連付けられたデジタル権利を管理して組織のデジタルアセットのコピーや重複を防止します。
- DAMは、営業チームとマーケティングチームがブランドポータルを通じてコンテンツワークフローと配信を管理し、明確で効果的なコミュニケーションを確保するのにも役立ちます。

## IT

- 開発者やITチーム間でコンテンツ管理に関連するAPIが普及しているため、DAMはソフトウェア設計の作成を可能にするソリューションとなっています。これにより、設計および開発プロセスを開始する前に上級管理職から承認を得る時間を節約でき、他の部門との効果的なコラボレーションも促進されます。
- 他部門と連携して、ファイルのタグ付けと参照により、組織のデジタルアセットリポジトリ全体でロゴ、フォント、写真などのメディアアセットの非重複性が確保されます。
- 多くのDAMでは、組織の要件に従ってマッピングされたアプリケーションにメディアアセットを最適化し、操作、提示するための追加機能も利用できます。

## その他

- その他のビジネスファンクションには、Webサイト管理やクリエイティブ部門があります。Webサイトにより、組織は、顧客、パートナー、販売代理店、サプライヤーとの関わりを深め、体験を向上させることが可能です。DAMは、Webサイト管理チームに直感的な機能を提供することで、このような要件に対応します。
- 大規模な組織には、製品パンフレット、ホワイトペーパー、画像、ロゴ、フォント、その他のデジタルアセットやテンプレートをデザインするクリエイティブチームが存在することが多く、このチームがDAMを使用することにより、テンプレートとデジタルアセットを完全に制御できるようになります。

## シェアはオンプレミスが高く、CAGRはクラウドが高い

アジア太平洋DAM市場予測（導入タイプ別）

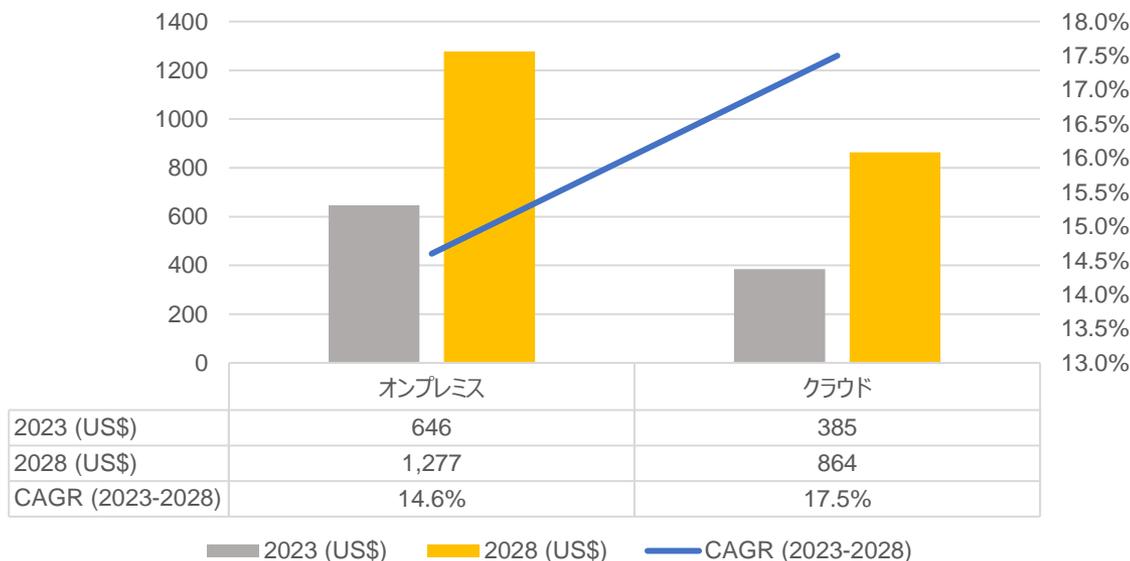


図5：アジア太平洋 DAM市場予測（導入タイプ）

出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

## DAM市場予測（セグメント別）導入タイプ（2）

DAM ソリューションは、クライアントの要件に応じてオンプレミスでもクラウドでも導入できます。クラウドベースの DAM ソリューションにより、組織は IT インフラストラクチャ、ソフトウェア、ストレージ、技術スタッフにかかるコストを削減し、DAM 運用を効率化できます。一方、オンプレミスの導入タイプでは、組織がシステムとデータを完全に制御できます。オンプレミスの導入タイプではセキュリティと柔軟性が向上し、クラウドモデルでは DAM ソリューションの更新と保守の手間が省けます。企業は、価値提案、要件、ビジネス モデル、経済的要因など、さまざまな要因に応じて導入タイプを選択します。

### シェアはオンプレミスが高く、CAGRはクラウドが高い

#### オンプレミス



- オンプレミスの導入率が高いのは、カスタマイズ可能で調整可能なソリューションを求める大企業でDAMの導入が拡大しているためです。
- また、CRM、ERP、PIM、マーケティング自動化、ソーシャルメディア、販売促進プラットフォームなどの既存のビジネスアプリケーションとの統合、リスク、ビジネスプロセス、組織の内部ポリシーの管理、外部のコンプライアンス要件への準拠が可能になります。

#### クラウド



- クラウドインフラへの移行の増加により、クラウドベースの DAM の需要が高まっています。24 時間 365 日のデータアクセス、迅速な実装、セットアップと運用コストの削減、保守コストの削減、拡張性、ITスタッフと予算が限られている組織にとっての使いやすさなどクラウドの様々な利点が理由です。
- クラウドベースのDAMは、企業がデジタルアセットの作成、保存、強化、管理、分析に関連する業務を管理できるようにすると同時に、組織がハードウェア、物理ストレージ、技術スタッフに関連するコストを回避するのに役立ちます。
- さらに、拡張性と費用対効果に焦点を当てた中小企業のエコシステムが拡大していることも起因しています。DAMを促進するためのクラウド・イノベーションも増加しています。

シェアは大企業が高く、CAGRは中小企業が高い

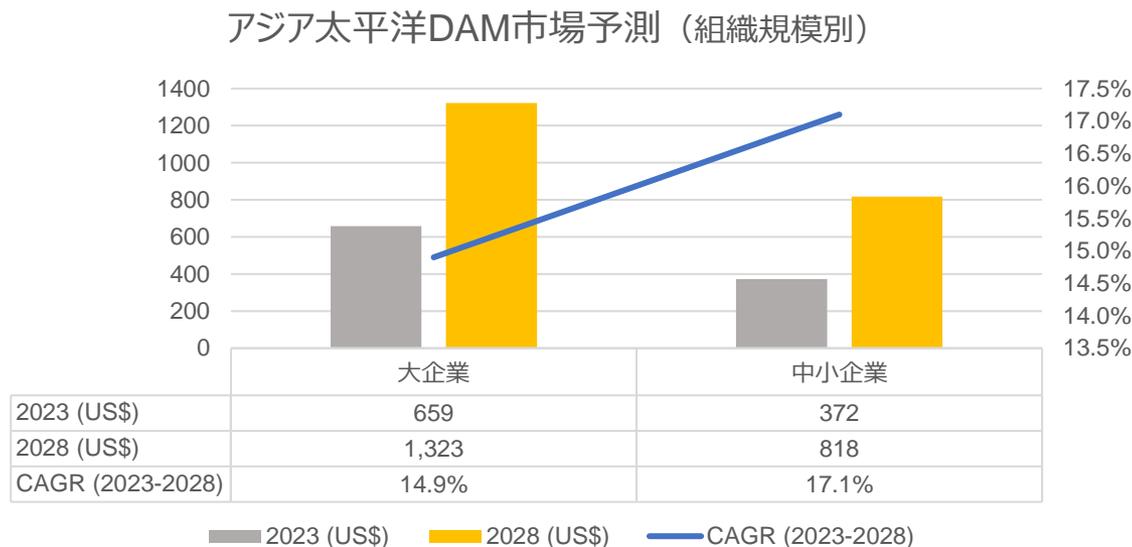


図6：アジア太平洋 DAM市場予測（組織規模）

出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

従業員数が1,000人を超える企業を大企業とし、999人以下を中小企業としています。

## シェアは大企業が高く、CAGRは中小企業が高い

### 大企業

- 大企業は、広範な製品ポートフォリオ、ブランドに関連するデジタルアセット、多くのリソース、信頼性の高いデジタル・ソリューションを必要とする複雑なワークフローにより、高い市場シェアを占めると推定されます。
- デジタルアセットの管理ミス、コンテンツの重複、コンテンツ配信の遅延により、顧客を失い、最終的にはブランド名に影響を与える可能性があるため、DAMは大企業にとってさらに活用されていくでしょう。

### 中小企業

- 中小企業は、デジタルアセットやコンテンツなどのリソースの管理を主に手動プロセスに依存してきました。しかし、熾烈な市場競争により、中小企業は高いビジネス効率を達成するために自動化ソリューションに投資するようになっていきました。
- 手作業を排除し、デジタルアセットの更新とチャネル間での配布にかかるコストと時間を削減することが不可欠な要件であるため、高いCAGRで成長すると予想されます。
- 限られた予算、小規模なIT インフラストラクチャ、少数のスタッフに制約されているため、中小企業は柔軟で拡張可能でコスト効率の高いソリューションを求めています。そのため、クラウドベースの DAM ソリューションを採用する傾向が高まっており、データ管理の煩わしさや保守の問題が解消し、コンテンツのコラボレーションを可能にし、顧客エンゲージメントを加速し顧客体験を向上させています。

# DAM市場予測（セグメント別）業種（1）

## アジア太平洋DAM市場予測（業種別）

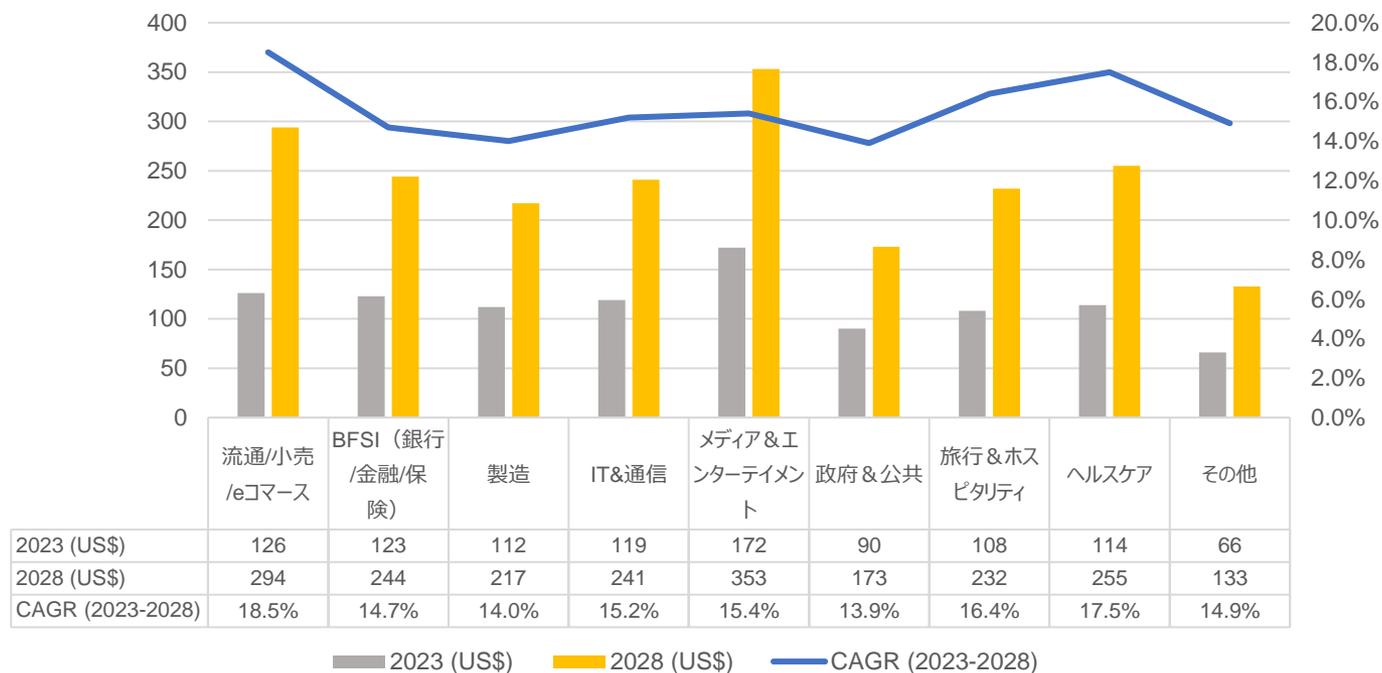


図7：アジア太平洋 DAM市場予測（業種）

出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

# DAM市場予測（セグメント別）業種（1）

DAM市場としては、流通・小売&eコマース、銀行・金融サービス・保険（BFSI）、製造、IT&通信、メディア&エンターテイメント、政府&公共機関、旅行&ホスピタリティ、ヘルスケア、その他（教育、不動産・建設、エネルギー・公益事業）の業種でのDAMの採用が進んでいます。

## 流通・小売&eコマース



- 流通・小売およびeコマース業界では、魅力的なグラフィックのデジタルアセットを正確に管理および配布することで、より高い市場シェアを獲得し、顧客およびパートナーの体験を強化する必要性から、DAMソリューションが推進されています。

## 銀行・金融サービス・保険（BFSI）



- 必要なビジネスアイテムのデジタル・ポートフォリオを作成し、ブランド化された顧客、パートナー、従業員の体験を構築しながら、デジタルアセットへのアクセス制御のセキュリティと管理を確保する必要性が高まっており、銀行・金融・保険業界でDAMの需要が高まっています。

## 製造



- 製品や新しい戦略に関連する適切なデジタルコンテンツを社内チームが定期的に表示できるようにする必要が高まっており、製造業界全体でDAM市場の成長が加速しています。
- DAMは、製造会社がブランド認知度を高め、チャンネル全体で魅力的な体験を作成するのに役立ちます。

## IT & 通信



- IT & 通信会社は、競合他社から抜きん出て、信頼できるブランドコンテンツで顧客を引き付けることを求めています。
- DAMソリューションは、これを最も効果的に実現し、一貫性のあるブランドコンテンツで強力なブランド認知を構築するのに役立ちます。

# DAM市場予測（セグメント別）業種（2）

DAM市場としては、流通・小売&eコマース、銀行・金融サービス・保険（BFSI）、製造、IT&通信、メディア&エンターテイメント、政府&公共機関、旅行&ホスピタリティ、ヘルスケア、その他（教育、不動産・建設、エネルギー・公益事業）の業種でのDAMの採用が進んでいます。

## メディア&エンターテイメント



- メディア&エンターテイメント業界では、デジタルコンテンツを通じてエンドユーザーにリーチするためにDAMの採用が進んでいます。
- これは、動画/動画クリップ、オーディオ、ポッドキャスト、ニュースレター、およびメディアチャンネルで毎日変化するニュースや情報など、大量のインタラクティブなデジタルアセットとコンテンツを保存、維持、強化、配信するニーズが高まっていることに起因しています。

## 政府&公共機関



- 市民に優れた体験を提供し、ニュースレター、パンフレット、マーケティングコンテンツの重要なリポジトリを管理するために、DAMは政府機関や公共機関全体で使用されています。

## 旅行&ホスピタリティ



- エンドユーザーへのパーソナライズされたコンテンツ配信のニーズが高く、地域のビデオ、画像、ドキュメントを保存するニーズがあるため、DAMの需要が高まっています。

## ヘルスケア



- DAMを使用すると、顧客に緊急時の対応を知らせたり、新しいワクチン、医薬品、医療用品や機器の最新動向を伝えることができるため、医療業界でDAMの需要が高まっています。
- 業界のガイドラインや規制に準拠しながら、増加するデジタル情報を管理する必要性が、医療業界でのDAMの成長に拍車をかけると予測できます。

## その他



- その他の業界分野には、教育、不動産/建設、エネルギー/公共事業が含まれます。
- 製品やサービスについてユーザーとコミュニケーションをとるために主としてDAMが活用されています。
- 不動産・建設業界は、DAMを活用し組織内の物件記録、ビデオ、レイアウト、3Dコンテンツをパートナーや顧客に配布して共有しています。

# DAM市場予測（日本）（1）

日本の市場予測としては、2023年から2028年のCAGRは13.7%、2028年の市場規模は2億6100万米ドル（約394億円）と予想されています。

日本におけるDAM市場を推進する主要な要因を示します。

国	2023	2024	2025	2026	2027	2028	CAGR
中国	241	276	317	361	415	478	14.7%
日本	137	156	177	201	229	261	13.7%
インド	78	91	107	125	146	172	17.3%
その他	574	668	778	902	1051	1229	16.4%
Total	1,031	1,191	1,379	1,588	1,841	2,141	15.7%

表1：DAM市場予測（アジア太平洋）

出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

## 高度なテクノロジーの導入基盤

01

- 日本は、クラウド、エッジコンピューティング、AI、ビッグデータ分析などの高度なテクノロジーの導入において常に先頭に立っています。
- 技術的に高度な製造企業の強力な基盤があり、DAMを導入する多様な機会を提供しています。
- 日本には、デジタル経済とクラウドコンピューティングを支援・促進する包括的な一連の最新法があり、DAMにとって魅力的な市場と成長の機会があります。

## DAMの導入を後押しする多様な要因の存在

02

- 日本におけるDAMの利点に対する認識の高まり、政府の取り組み、eコマースの人気の高まり、デジタルコンテンツの需要の高まりなど、さまざまな要因によりDAMの導入が増加しています。
- DAMは、コンテンツ作成の合理化、デジタルアセットの一元管理、多チャネルでブランドの一貫性の確保、チームのコラボレーション、ワークフローの自動化などの利点が認識されています。

## 販売プロモーション戦略を支える重要ツール

03

- DAM はオムニチャネル マーケティングを促進し、オンライン、印刷、ソーシャル メディア プラットフォーム全体で一貫したブランド メッセージを配信し、一貫性のある顧客体験を生み出し、企業が適切なメッセージを適切な顧客に届け、エンゲージメントとコンバージョン率を高めます。
- これによりDMAは、競争に打ち勝ち売上を増加させる企業にとって欠かせないツールになっています。

# 17 DAM市場予測（日本）（2）

日本におけるDAM市場の、組織規模別と導入タイプ別の予測図です。

傾向はグローバルと同様で、組織規模は、大企業がシェアが高く、CAGRは中小企業が高くなると予測されています。

導入タイプも、オンプレミスがシェアが高く、CAGRはクラウドが高くなると予測されています。

### 日本DAM市場予測（組織規模別）

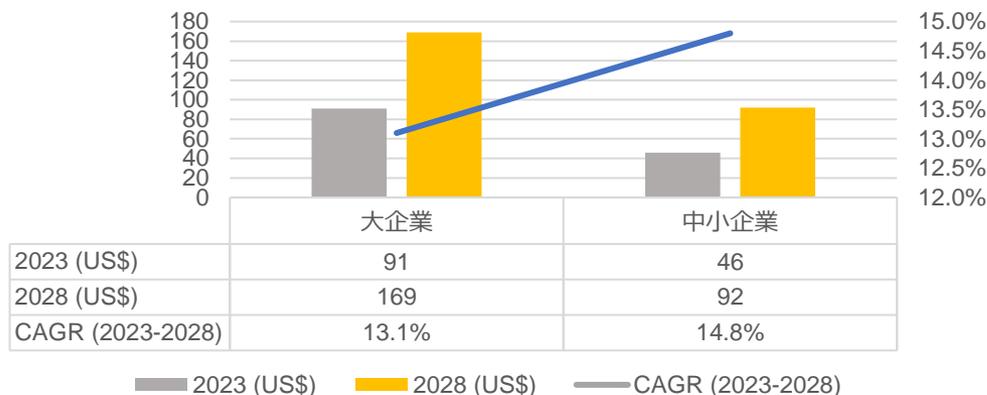


図8：日本DAM市場予測（組織規模）

出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

### 日本DAM市場予測（導入タイプ別）

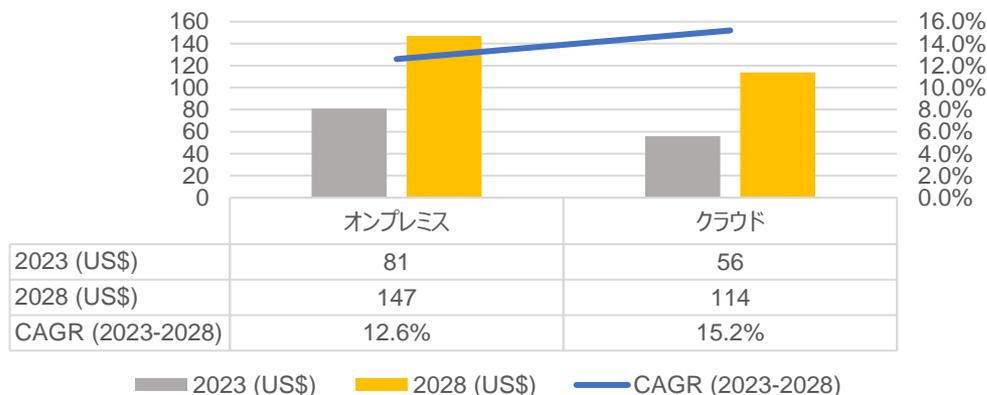


図9：日本DAM市場予測（導入タイプ）

出典：「Secondary Literature, Expert Interviews, and MarketsandMarkets Analysis」から日本語版作成

## 今後のテクノロジーの機会

DAM市場の成長要因の1つとなる、主要なテクノロジーに関して、簡単に紹介します。

01

### AI（人工知能）

- AI（人工知能）とML（機械学習）は、利用可能なすべての情報から価値を引き出す鍵となり、膨大な量のデータを、極めて高速かつ正確に処理し、データからの学習によりさらに優れた結果を提供します。
- AIはピーク時に性能を発揮するために必要な大量のクリーンデータを提供するためにDAMに依存しています。
- AIの技術は、メタデータのタグ付けとアセットの説明を自動化し、アセットの検索、整理、配布が、他の方法に比べてはるかに短時間で簡単に行えるようになります。

02

### ブロックチェーン

- DAMは、暗号トランザクションの認証に使用される秘密鍵を安全に保管することで、ブロックチェーン技術のセキュリティを強化します。
- DAMをパブリック・ブロックチェーンの分散型ソリューションとして使用し、メディアアセットの作成者が金銭的利益を得るためにコンテンツを公開およびブロードキャストできるようにすることで、ブロックチェーンでDAMを活用できます。
- DAMとブロックチェーンの融合にはまだ長い道のりがありますが、DAMを使用してブロックチェーン技術のセキュリティを強化することで、フィンテックや金融会社などのブロックチェーン顧客全体でDAMの採用が促進されると期待されています。

03

### AR（拡張現実）とVR（仮想現実）

- ARとVRをDAMと組み合わせると、仮想世界と拡張世界に保存されている重要なデジタルアセットの1つである3Dコンテンツを橋渡しすることができます。
- ARとVRの直感的な体験により、コンテンツのパーソナライゼーションが向上し、DAMの有効性とユーザー体験が強化されます。
- 多くの企業が、物理アセットの管理にARとVRを実装しているため、ARとVRを統しDAMが拡張されることが期待されています。

本レポートでは、分析対象として  
いるベンダー企業は合計31社で、  
うち米国企業が17社、欧州の企  
業が12社、アジア太平洋の企業  
は2社です。

ビジュアル・プロセッシング・ジ  
ャパンは、アジア太平洋企業の2  
社のうちの1社であり、日本の企  
業で唯一選出されています。

31社のうち、キープレイヤーと  
して10社が選択されており、そ  
の中にビジュアル・プロセッシン  
グ・ジャパンが選出されています。  
他7社は米国、その他はカナダと  
オランダです。

ビジュアル・プロセッシング・ジ  
ャパンの評価のポイントをご紹介します。

01

### 統合型 DAM/PIM ソリューションの大手プロバイダーとしての地位の確立

- 1994年に設立された同社は、未開拓の市場に参入しデジタルアセット管理市場で一貫してプラスの収益成長を生み出している強力なビジネス戦略を持つ確立されたベンダーと評価されています。
- CIERTO DAM/PIMプラットフォームと、Shopify、ECbeing、WordPress などの人気の EC (e コマース)/CMS (コンテンツ管理システム) パッケージとのシームレスな統合を推進することで、提供内容を拡大し、大規模な顧客基盤に加え、あらゆる規模の企業に提供しています。
- 出版物やドキュメントのオンライン編集・配信ソリューションとして、本レポートでも評価が高い WoodWing社との提携も、地位の確立に有効となっています。

02

### 多様な業種に対応した広範な顧客の獲得

- IT&通信、政府&公共部門、小売&eコマース、ヘルスケア、製造、旅行&ホスピタリティ、メディア&エンターテインメント、不動産など、さまざまな業種で採用されています。
- キープレイヤーとされた10社の中には、対応業種が限定されているベンダーも複数あります。

03

### 迅速な開発とリリース

- 本レポートでは、ベンダーの評価に際し「製品のイノベーションへの注力」という観点も重要としています。各ベンダーの新製品や製品エンハンスメントのリリース状況の中で、ビジュアル・プロセッシング・ジャパンの製品リリースは、継続的で最も最新に行われていると評価されています。
- キープレイヤーの半数は調査のベースとなる期間中の4年間もしくは2年間、リリースしていません。

04

### 比類のない導入しやすさ

- キープレイヤーの中には、導入時のコンサルティングサービスの提供が無いベンダーも数社ありました。ビジュアル・プロセッシング・ジャパンは、コンサルティング、統合、実装、教育、保守サービスの提供も評価されています。
- 大手ベンダーの製品と比較し、ビジュアル・プロセッシング・ジャパンのソリューション価格、サービス価格は顧客が導入しやすいと評価されています。

# お問い合わせ

DAM導入に関する相談窓口・サポート情報



<https://www.vpj.co.jp/>



相談窓口

